

## 使う道具の管理をしやすくする①

# 子どもがよく使うものは しまう場所を決める



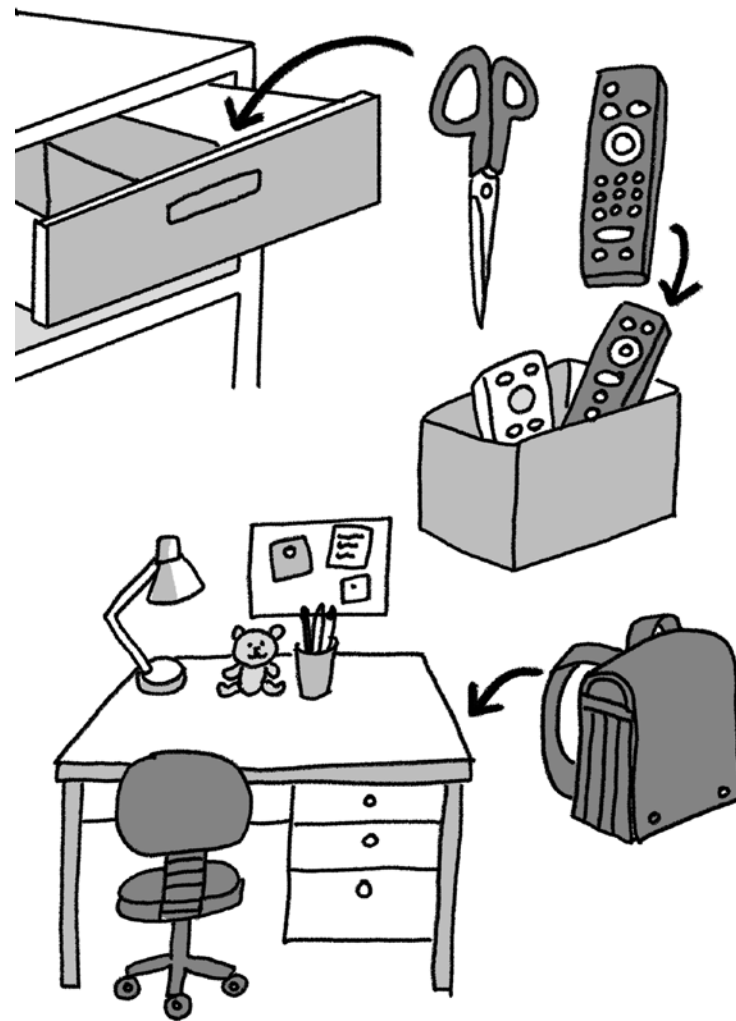
### 置き場所を家族全員で共有する

「さっき使ったはずのハサミが見当たらない」「きのう、学校でプリントをもらってきたんだけど……、ママ、見なかった?」「あした必要な教科書、どこにいったのかわからない」

こんなふうを探しまわることがないよう、子どもが日々使うバッグや教科書、文房具、おもちゃやゲーム、あるいはくつしたなどの小さな衣類は置き場所や扱い方のルールを決めましょう。たとえば、

- 文房具と引き出しに同じ色のシールを貼り、使い終わったら、必ず同じ色のシールの引き出しにしまう。
- くつしたや下着はたたんで引き出しに入れる。
- ランドセルやバッグは、学校や塾から帰ったら、玄関、リビングなどに置きっぱなしにせず、学習机のわきにかける。
- 教科書はバッグから出したら、決まった本棚に入れる。
- おもちゃやゲームは、「あと10分で夕ごはんよ」と声がかかったら、おもちゃ箱に片づける。
- テレビやエアコンなどのリモコンは、リビングのテーブルの決められた位置に置く。

こうした置き場所やルールは、家族全員で共有し、みんなで守ることが大切です。



⇒P64 お手本を見ながらやってみよう①  
で片づけ上手に!

決めごとが守られず、文房具やおもちゃ、ゲームなどが出しっぱなしになっているとき、親が、自分でやったほうが早いからと片づけてしまうのはぐっと我慢。「これは、どこにしまうのかな」と子どもに問いかけ、自分で気づけるようにしましょう。